



認知症…ひとりで悩んでいませんか？

第4号

平成29年3月1日発行

中丹西

オレンジロードつなげ隊だより

【事務局】京都市中丹西保健所 企画調整室 中丹西地域包括ケア推進ネットワーク
〒620-0055 福知山市篠尾新町1丁目91 TEL 0773-22-5744

こんにちは！オレンジロードつなげ隊です！！

認知症の人を理解し、支援していくためにはどうすれば良いのでしょうか？超高齢社会を迎えた今、誰もが認知症にかかわる時代に入っています。優しさと思いやりを持って、地域で協力し見守ることや、認知症への理解を広めることにより、認知症になっても安心して生活できるまちづくりにつなげていきましょう！



オレンジロードつなげ隊

認知症を正しく理解してもらうための普及啓発を企画・実践し、認知症のことをたくさんの人に知ってもらうため現在40名の隊員で活動しているグループです。

隊員からのメッセージ

鳥川 ゆり子さん

所属：認知症予防の会



私は認知症予防の会に所属しています。近年、毎日のように認知症という言葉を目にしたリ、耳にして認知症への関心は高まっているように思えますが、まだまだ言葉だけが先走りしているのが現状です。認知症予防には携わっている人々の知識や技術が問われることから、ボランティアだけで出来るものではありませんが、ボランティアだからこそ出来る事があります。私達の存在を広く知ってもらうために「いきいきサロン」を対象にして、地域外向き型介護予防教室を展開中です。認知症は誰にとっても身近な問題で奥が深いですが、活動を通して学び正しく理解し適切な援助が出来るように頑張っています。

塩見 浩子さん

所属：ニコニコハウス



厚ニコニコハウ斯里んご村（認知症対応型通所介護）に勤務しております。仕事をする中で日々感じる事ですが、送迎の際、ご家族様にお出迎えし、一生懸命介護されている様子が分かります。また相談をうける事や逆にこちらが教えて頂く事も多くあり、「自宅での生活を、ずっと続けていけるように」と頑張っておられます。その為にはご利用者様が元気で頂く事はもちろんですが、私達出来る事は何か？と考えている中、あるご家族様が「職員さんが迎えに来てくれて元気な挨拶・笑顔をみれば疲れは吹き飛び、また頑張れる」と言って下さいました。

ご利用者様・ご家族様が、元気に楽しく過ごして頂けるように、ニコニコ笑顔で頑張っていきたいと思います。

鎌田 玲子さん

所属：雲原地区福祉推進協議会



雲原は高齢化率が52%を超える地域です。高齢者の皆さんに雲原で元気に暮らしていただくことを願い、地域の皆さんの交流の場として地区福祉推進協議会が平成25年7月から毎月「水車ひろばサロン」を開催しています。内容は健康や介護予防・特殊詐欺や交通安全の勉強会・地域の消防団との初期消火と炊き出し訓練等。また納涼や忘年会等はボランティアによる手作り食事会をしています。

このサロンで「つなげ隊」で学習した内容を皆さんに伝えています。

月1回ですが「皆さんの顔が見られ話ができてうれしい。楽しみや」と参加は30人を超えます。

今後も内容を検討しながら継続していきたいと思っています。

シリーズ ～相談窓口を紹介します～

No.3 認知症あんしんサポート相談窓口【おとなせ(猪崎)】

認知症の方への対応方法や、福祉、介護サービス全般、相談されたい事等があれば、お気軽におたずね下さい。経験豊富な職員が親切、丁寧に対応させていただきます。

●おとなせ（住所：福知山市猪崎754番地53）

☎23-8222（要事前連絡）

受付時間 13:00～17:00



入り口 外観



正面 外観

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 平成28年度の主な活動を紹介します ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

認知症啓発用DVD

『地域で支えよう認知症 ～オレンジロードつなげ隊からの発信 in ふくちやま～』

認知症のことを正しく知ってもらうため、平成28年7月中旬よりDVD撮影に取り組み、ついに完成しました♪

【DVD内容】約30分 見たい寸劇を選ぶこともできます。

- はじめに
『認知症ってなんだろう』
- 対応について(寸劇)
 - ①井戸端会議
 - ②ゴミ出しの対応
 - ③お父さん、車の運転大丈夫？
 - ④行方不明になりそう
 - ⑤ご飯まだかね
- まとめ
『相談窓口、オレンジロードつなげ隊紹介』



ご利用ください。
DVD貸出中です!!
貸出費用：無料
(但し、郵送料は自己負担)

認知症あるあるの身近な例を取り上げて、協働していただいた皆様の熱い思いがぶれるほどたくさん詰まった内容に仕上がってます♪



◆DVD貸出(レンタル)について◆

お問い合わせ先：中丹西保健所 企画調整室 ☎0773-22-5744

オレンジロードつなげ隊ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/chutan/whoken/orangeroad.html>

三和ふれあいフェスティバルで啓発!

開催日時 平成28年11月13日(日)
場 所 三和荘周辺



啓発活動

脳年齢ゲームコーナー



寸劇

平成28年度『地域で支える認知症講演会』

開催日時：平成28年12月17日(土) 場所：大江町総合会館
参加者数：一般の方、医療、介護、福祉関係者など約200名

- 認知症啓発用DVDの試写会を行いました。
アンケートでは『今後活用したい』との回答もいただきました。
- 『認知症などで判断能力が低下したとき、手術などの医療行為の同意が得られず治療が進まなかったり、希望していない医療行為を受けることになってしまう事例があります。納得のいく医療が受けられるよう、元気なときから、周りの人と話をしておいてほしいと考えています。』 基調講演より抜粋
- 事例紹介では、認知症状が出てきたお隣同士(アルツハイマー型認知症の方とレビー小体型認知症の方)2人が手に手をとって、地域の商店街に出かけお互い支え合いながら生活している様子を紹介。『認知症になるときはなる。なっても楽しく暮らせる世の中になればいいな…』と。



京都府立医科大学大学院 精神機能病態学 教授 成本先生



西垣内科医院(認知症サポート医) 西垣先生

認知症豆知識

レビー小体型認知症って?

レビー小体型認知症という名称のとおり、レビー小体という神経細胞に出来る特殊なたんぱく質によって神経伝達が障害されます。

特徴的な症状が幻視や妄想です。初期の段階で物忘れよりも、本格的な幻視が見られる場合があり、(誰か・何かが)いる場所に向かって、話しかけている事もあります。またパーキンソン病と間違われることもあるほど、似た症状(手足の震え、動作が遅くなる、筋肉のこわばり、歩行障害など)が出てきます。またうつのような症状が見られる場合が多く、うつ病と間違われる事もあります。

幻視に関してはご本人には見えているため、否定をせず、話を合わせてから違う話題に変えてみましょう。動作がゆっくりでも急かさず、家の中でも転倒しないように注意してください。

対応が難しいと思ったら、地域包括支援センターなど相談窓口にご相談しましょう。



【レビー小体型認知症】

アルツハイマー型認知症に次いで多く、男性の発症率が高く、女性の約2倍と言われています。